

船井情報科学振興財団奨学生レポート

2016年12月

勝谷郁也

授業

3年目に突入して、卒業までに要する授業の単位数は、前回のレポートでありました ELEC599 の 6 単位を含めて 36 単位ですが、この学期までで卒業要件に含まれる授業で 27 単位を取得しましたので、残りは 9 単位で 1 学期に 1 つずつこれからは取得をしていくこととなりそうです。

卒業要件以外では、機械加工の授業や英語の授業、TA、私の研究分野へのセミナー参加等をこなしました。

研究

研究も成果が出始め、ポスドクが主体で行っていた研究論文が先日ようやく投稿されました。また、大学内の Workshop on Frontiers of Quantum Materials 等でも研究成果を発表する機会がありました。ライス大学では学内（学科内）で大小含めたくさんワークショップが行われており、同僚達の研究を聞きながら、刺激を受ける機会が多いです。私の場合はサンプルの提供がこのような場で決まることがよくあり、サンプル提供者の異なる方向での研究の進捗や論文だけでは得られないようなことも分かるので、よく利用をさせてもらっています。

来学期からは授業は 1 つずつでよくなり、また様々な共有設備のトレーニングも終わりましたので、より研究に集中をしたいと思っております。まだ私のプロジェクトでの論文が出ていないので、次の半年で必ず論文を投稿します。

その他

寮を出て 1 年が経過しましたが、特に大きなトラブルはなく生活ができています。こちらに来ている日本人の研究者で家に泥棒の被害に遭われた方がいましたが、私は幸運なようです。

最近、出願時にお世話になった米国大学院学生会の執行部となりました。こちらの団体でも、貴財団の後援を受け、全国の大学で大学院留学説明会を開催ができています。

成果が出ず、非常に辛い時間を過ごしていますが、なんとか研究が続けられているのは貴財団の支援があるからであり、支援に報いるべく次回のレポートではよりよい報告ができるよう精進をしてみたいと思います。